



特定非営利活動法人

きんたろう倶楽部 NEWS

2021年

12~2月

このニュースでは、「活動案内」ではなかなか掲載できない、きんたろう倶楽部の日々の活動や講座、日誌などを報告します。

くればNAVI養成講座 古墳 編



昨年12月19日、富山市埋蔵文化センターの細辻嘉門学芸員を講師に、「遺跡から見た富山の歴史～杉谷古墳群の特徴や杉谷4号墳(四隅突出古墳)の成り立ちと最新知見～」を学びました。参加者は13名。当日は雪が降る寒い日でしたが、4号墳の前で約1時間、古墳の形状や埋葬範囲、四隅突出部の状況をお聞きしています。

出雲地域の古墳との比較が行われる「四隅突出墓」ですが、墳丘が高いこと、四隅と方位が一致すること、肥大した突出部をもつこと、単次葬などから、山陰との違いが見えるとのことでした。

安全講習会～手工具を中心に～

1月20日、裏秀雄会員を講師にノコギリを中心とした手工具の使い方を学びました。参加者は11名。工具の違いや、



刃の手入れ、向きや力の入れ方など、基本的なことを学び、今後の森づくり活動に活かしていきます。

くればNAVI養成講座 呉羽丘陵の地形と地質 編



2月6日、富山大学学術研究部の安江健一准教授から、呉羽山周辺の地形と地質のみどころについて、その特徴を学びました。参加者は17名。丘陵の地層は400万年前以降の堆積物が隆起したこと、50~60度の傾斜で砂層と泥層の互層があることや、砂層には当時のカニの巣穴跡が残ること、隆起と断層の関係で、もしそのまま山が残っていれば、呉羽丘陵は現在の倍以上の標高で、富山大学付近に頂上があったことなどの不思議。また説明看板が雪で埋まっていたが、福祉センター横の階段には呉羽山礫層と砂層の境界が見え、ちょうどいい観察ポイントであることなどを学びました。

かんじきハイク in 桐谷

2月21日、NPO法人アイ・フィール・ファインに共催し、八尾町桐谷でかんじきハイクを実施しました。参加者は13名。ハイクの帰りはすでに雪が解けている暖かさでしたが、目立つウサギの足跡は見つからず、タヌキやキツネ(と思われる)足跡、ため糞の跡、芽吹きの様子などが観察できました。



その他の活動

- 2月13日 第34回フットパス 122名
- 2月20日 ウォーキングリーダー講習会
- 2月26日 やまむろ保育園とのクラフト